

IV 付属資料

1. うるま市総合交通戦略策定検討幹事会名簿

表 16 うるま市総合交通戦略策定検討幹事会の開催概要

	開催日	開催場所	議事次第
第1回	令和元年10月7日(月)	西棟2階 中会議室	<ul style="list-style-type: none"> うるま市交通総合戦略について 意見把握について
第2回	令和元年11月29日(金)	西棟2階 中会議室	<ul style="list-style-type: none"> 第1回検討幹事会、委員会の議事要旨 意見把握状況の報告 実施施策及び実施時期、実施体制 計画目標・数値目標
第3回	令和2年1月29日(水)	西棟2階 中会議室	<ul style="list-style-type: none"> 第2回検討幹事会・委員会の議事要旨 アンケート調査結果について うるま市総合交通戦略(案) パブリックコメント、答申について

表 17 うるま市総合交通戦略策定検討幹事会名簿

区分	所属	職名
幹事長	都市建設部	都市建設部参事
副幹事長	都市建設部	都市政策課長
幹事	企画部	企画政策課長
幹事	企画部	財政課長
幹事	企画部	防災基地渉外課長
幹事	市民部	市民協働課長
幹事	経済部	産業政策課長
幹事	経済部	商工労政課長
幹事	経済部	観光振興課長
幹事	福祉部	福祉総務課長
幹事	教育委員会 指導部	指導課長
幹事	都市建設部	道路公園課長
幹事	都市建設部	維持管理課長
幹事	消防本部	警防課長

2. うるま市総合交通戦略策定検討委員会名簿

表 18 うるま市総合交通戦略策定検討委員会の開催概要

	開催日	開催場所	議事次第
第1回	令和元年10月17日(木)	東棟3階 大講堂	<ul style="list-style-type: none"> うるま市交通総合戦略について 意見把握について
第2回	令和元年12月5日(木)	東棟3階 大講堂	<ul style="list-style-type: none"> 第1回検討委員会の議事要旨確認 意見把握状況の報告 実施施策及び実施時期、実施体制 計画目標・数値目標
第3回	令和2年2月4日(火)	東棟3階 大講堂	<ul style="list-style-type: none"> 第2回検討委員会の議事要旨確認 アンケート調査結果について うるま市総合交通戦略(案) パブリックコメント、答申について

表 19 うるま市総合交通戦略策定検討委員会名簿

番号	分野	役職等
1	学識	国立大学法人 琉球大学 工学部 准教授
2	国	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課長
3	国	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課長
4	国	内閣府 沖縄総合事務局 運輸部 企画室長
5	国	内閣府 沖縄総合事務局 運輸部 陸上交通課長
6	国	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 副所長
7	県	沖縄県 企画部 交通政策課長
8	県	沖縄県 土木建築部 都市計画・モノレール課長
9	県	沖縄県 土木建築部 道路街路課長
10	県	沖縄県 土木建築部 道路管理課長
11	警察	沖縄県 うるま警察署 交通課長
12	警察	沖縄県 石川警察署 交通課長
13	公共交通	一般社団法人 沖縄県バス協会 専務理事
14	公共交通	沖縄バス株式会社 運輸部 業務課長
15	公共交通	株式会社琉球バス交通 業務課 係長
16	公共交通	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会 事務局長
17	観光	一般社団法人 うるま市観光物産協会 副理事長
18	福祉	NPO法人 バリアフリーネットワーク会議 理事長
19	市民	うるま市自治会長連絡協議会 前原自治会長
20	市民(著名人)	ラジオパーソナリティー
21	市民(著名人)	ワイドー aiプロ株式会社 闘牛実況アナウンサー
22	市	うるま市 企画部 部長
23	市	うるま市 市民部 部長
24	市	うるま市 経済部 部長
25	市	うるま市 都市建設部 部長

3. 用語集

	用語	意味
あ	LRT	Light Rail Transit の略。低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システムのこと。
か	幹線道路	全国あるいは地域・都市内において、主要な地点を結び、道路網の骨格を形成する道路のこと。高速自動車国道・一般国道・主要地方道・一般都道府県道など。
	基幹バス	路線バスのうちで都市部の基幹交通を担うように構想・整備されたものを指す。那覇～コザ間の交通需要の多い区間で導入されている。
	グリーンスローモビリティ	電動で、時速 20km 未満で公道を走る、4 人乗り以上のモビリティのこと。
	広域交通結節点	鉄軌道を含む新たな公共交通と支線公共交通の交通結節点であり、本市においては「安慶名」、「石川」を位置付けている。
	公共交通空白地域	以下の条件をすべて満たす地域を指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・既存バスが走行していない地域 ・既存バス停から半径 300m の範囲より外側の場所 ・鉄道駅から半径 300m の範囲より外側の場所
	公共施設間連絡バス	市役所庁舎統合後の市民の行政手続き等の利便性の確保並びに公共交通空白地域における交通手段の改善を目的に、2016 年 7 月から無償の公共施設間連絡バスを運行している。 2020 年 4 月 1 日現在、具志川地区～石川地区を結ぶ路線（具志川石川線）には 9 箇所、具志川地区～与勝地区を結ぶ路線（具志川与勝線）には 10 箇所の停留所が設置されている。
	交通拠点	交通結節点を中心とした、都市機能集積、賑わい創出を図るエリアのこと。
	交通結節点	交通結節点は、異なる交通手段（場合によっては同じ交通手段）を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ地点のこと。
	コミュニティ交通	路線バスやほかの交通手段でまかなうことができない地域の公共交通需要に応じて運行される車両のこと。（例：コミュニティバス、コミュニティタクシー など）
混雑度	交通容量に対する交通量の比のこと。混雑度が 1 を超えると交通が通過できず、道路が混雑することを意味する。	
さ	シェアサイクル	一定の地域内に複数設置されたサイクルポートで、専用の自転車を自由に貸出・返却できる自転車共有システムのこと。レンタサイクルとは異なり、借りたサイクルポートと異なるサイクルポートに自転車を返却することができる。
	自家用有償旅客運送	バス・タクシー事業が成り立たない場合であって、地域における輸送手段の確保が必要な場合に、必要な安全上の措置をとった上で、市町村や NPO 法人等が、自家用車を用いて提供する運送サービスのこと。
	時差出勤	同じような時間帯に設定された始業・終業時間が、通勤時の交通渋滞等を招くことから勤務時間の始業時間と終業時間を変更（総勤務時間は同じ）する取り組み。

	用語	意味
た	デマンド型交通	電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態である。
	トラフィック機能	車両の走行空間としての機能のこと。遠くに急いで行くことが目的の高速道路はトラフィック機能が重視される。
な	ノーマイカーデー	過度なマイカー利用を抑制するため、日頃マイカーで通勤や買い物などを行っている方に、あらかじめ設定した日に、公共交通機関等を利用して通勤等してもらうこと。
は	パークアンドバスライド	郊外や都心周辺部のバスターミナルやバス停周辺などに駐車場を整備し、マイカーからバスへの乗り継ぎを図るシステムのこと。
	BRT	Bus Rapid Transit の略。連節バス、PTPS（公共車両優先システム）、バス専用道、バスレーンなどを組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステムのこと。
	バリアフリー	高齢者・障害者等が生活していく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報面での障壁などすべての障壁を除去する考え方のこと。
	フィーダーバス （支線バス）	交通網において、幹線（主に鉄道を指す）と接続して支線の役割をもって運行される路線バス、ないしその路線のこと。
	PTPS	公共車両優先システム。地上設備の光学式車両感知器とバスに搭載している専用装置と通信を行うことにより、バスに対する信号機の優先制御を行うことにより、青信号の延長や赤信号の短縮を実施する。なお、このシステムは、交通状況に応じて信号制御するもので、常に青信号でバスを通過させるものではない。
	ボトルネック交差点	交通量が多く、渋滞が発生しやすい信号機付きの交差点などのこと。
ま	モード	方法、手段。交通モードとは徒歩、自転車、路線バスなどの交通手段を示す。
	モビリティ・マネジメント	公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度にかしこく利用する状態を目指し、住民や会社に働きかけ、自発的な行動の転換を促していく取り組みのこと。
ら	ラウンドアバウト （環状交差点）	平成 26 年 9 月 1 日の道路交通法改正以降、全国の都道府県で運用されており、交通事故の抑止、被害の軽減、信号機が不要になることでの待ち時間の減少、Uターン機能、災害時の対応力の向上等の効果が見込まれている。
	レンタサイクル	短期の契約で自転車を貸出するサービスのこと。観光地等において、観光客が近隣観光地へ手軽に移動できる手段として貸出場所を設置したり、市街地での移動手段の 1 つとして設置されている場合が多い。